

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ教室

記

研究の名称	異所性脂肪化に着目した IBD の多様性の解明
対象	2019 年 6 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間に大阪医科薬科大学病院消化器内科に入院した IBD（潰瘍性大腸炎またはクローン病）患者さんが対象です。 本学では、150 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：IBD では近年分子標的治療薬が登場したことにより、予後の改善効果が示されています。しかし治療に難渋する IBD 患者さんでは栄養状態が低下し、筋肉量や筋力が減少するサルコペニアが高率に生じると言われています。また、サルコペニアは IBD の予後と関連する可能性が考えられます。そこで全身の筋肉の質的变化を表す異所性脂肪化が IBD の病態の多様性と関連しているかを明らかにすることを目的としています。 利用方法：患者さんの本院の CT 画像、血液検査データ、診療記録を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な利益や

	不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。
	利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：CT 画像、血液検査データ、診療記録
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ 准教授 宮寄 孝子	
参加拒否の申し出について ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。 参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。	
問い合わせ窓口 【研究機関】	

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ教室

担当者 宮崎 孝子

連絡先 072-683-1221（代） 内線 58597

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 宮崎 孝子 殿

研究の名称	異所性脂肪化に着目した IBD の多様性の解明
-------	-------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）